

子規 漱石 in 日暮里

第6回 句あわせ

子規・漱石2人の俳句の魅力を語りあう



参加費無料
全席自由席

開催日 令和6年1月13日(土)

会場 日暮里サニーホール
アートホテル日暮里ラングウッド4F

時間 13:30 ~ 15:00 受付 13:00~
※第1部と第2部の間に10分間の休憩を設けます。

住所 荒川区東日暮里5-50-5
四JR・京成「日暮里」駅南口 徒歩約1分
四日暮里舎人ライナー「日暮里」徒歩約3分

内容 第1部 子規・漱石句あわせ
子規チーム《東大俳句会》と漱石チーム《早稲田大学俳句研究会》の両チームが、それぞれ子規・漱石の俳句を鑑賞し、ディベートにて熱戦を繰り広げ、俳句の魅力を伝えます。

出演者 対馬 康子氏
(現代俳句協会副会長・産経新聞俳句選者)

第2部 俳人による鼎談
子規・漱石の「ユーモア」をテーマに3名の俳人が、ゆかりの地・日暮里で俳句の魅力を語り合います。

岸本 尚毅氏
(「天為」「秀」同人・(公社)俳人協会評議員)

黒岩 徳将氏
(現代俳句協会青年部長・「いつき組」所属・「街」同人)

申込

令和5年12月5日(火)から令和6年1月12日(金)17時まで

申込期間を延長しました
ぜひお申し込みください!!

電話、ファクス、来所、はがきまたは荒川区ホームページ(電子申請)で
事業名、住所、氏名、ふりがな(参加者全員分)、電話番号をお知らせください(※学生の場合は学校名・学年も)。

※車いすをご利用の方は、お申込の際に事前にお知らせください。

電話 03-3802-3795 ファクス 03-3802-4769

荒川区ホームページ

来所 荒川区役所3階①窓口文化交流推進課 はがき 〒116-8501荒川区荒川2-2-3
荒川区文化交流推進課文化振興係宛て

荒川区 句あわせ

検索

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a015/event/shiki_soseki.html

荒川区ホームページ
QRコード





日暮里と 正岡子規 夏目漱石 のゆかり



正岡子規は、明治27年（当時26歳）に上根岸町82番地（新聞記者・評論家の陸羯南宅の東隣、現在の台東区根岸2丁目「子規庵」）に居を移しました。そして、近隣の日暮里や三河島といった荒川のまちを散策し、そこで目にした三河島菜などの俳句を詠みました。子規と親交の深かった夏目漱石もたびたび子規庵を訪れ、句会に参加しました。

荒川区・芋坂の羽二重団子は、子規や漱石に愛され、彼らの作品にもしばしば登場します。右の句は、団子と月を詠んだ子規の句です。また、漱石の小説「吾輩は猫である」の中にも羽二重団子が登場します。

子規が通った「共立学校」は、後の開成高校（荒川区西日暮里）であり、その縁もあり、開成高校の俳句部は、毎夏、松山市で開催される俳句甲子園の優勝常連校です。また、子規が高浜虚子に後継者となることを断られた茶屋でのエピソードは開成高校がある道灌山を舞台としており「道灌山事件」と呼ばれています。

このように、正岡子規、夏目漱石と荒川区はとても縁があるのです。

芋坂も団子も月のゆかりかな
正岡子規



俳句のまちあらかわ

荒川区は古くから俳句にゆかりのあるまちで、子規以外にも多くの俳人たちが俳句を詠みました。日暮里は江戸時代、「日ぐらしの里」と呼ばれた風光明媚な花見や虫聴きの名所であり、小林一茶も本行寺をたびたび訪れ、句を詠みました。本行寺には、一茶の「陽炎や道灌どのの物見塚」、また、種田山頭火の「ほつと月がある東京に来てみる」といった句碑があります。

一方、日光街道の千住宿（荒川区南千住）は、松尾芭蕉「おくのほそ道」矢立初めの地です。「行く春や鳥啼き魚の目は泪」・・・この句を矢立初めの句として芭蕉は旅立ちました。

このように、俳句ゆかりの地である荒川区は、平成27年3月に「俳句のまちあらかわ」を宣言し、投句からイベントまで様々な俳句文化振興の事業を行っています。



正岡子規 生誕の地「俳都松山」

愛媛県松山市は、正岡子規や高浜虚子、石田波郷など多くの俳人を輩出した「俳都」として知られています。平成26年8月には、俳句を楽しみ尽くす好奇心をエネルギーとした子規の革新精神を受け継ぎ、松山から俳句の風を絶やさず起こし続けることを宣言した「俳都松山宣言」を発表しました。

市内には、子規記念博物館や坂の上の雲ミュージアムなどの文学施設をはじめ、数多くの句碑や文学遺跡があり、平成30年度に50周年を迎えた「俳都松山俳句ポスト」や、高校生による俳句の全国大会「俳句甲子園」を開催するなど、まちの至るところで俳句の風を感じることができます。皆さんもぜひ、正岡子規生誕の地「俳都松山」へお越しください。



▲俳句甲子園全国大会(1日目)の様子



▲俳句甲子園全国大会(2日目)の様子